

# 小泉八雲朗読のしらべ

【出演者】

脚本・朗読 佐野 史郎

音楽・ギター 山本 恭司

監修・講演 小泉 凡

# 転生

TENSHOW

～ 絶望の淵から蘇る輪廻のしらべ～

# 転生

nanami nanasava

2021年

3.28(日) 15:00開演 [14:00開場]

メテオプラザ 松江市美保関海の学苑ふるさと創生館  
島根県松江市美保関町七類3246-1

入場料  
全席指定席

◎前売り [大人]2,000円 [中学生以下]1,000円

◎当日 [大人]2,500円 [中学生以下]1,500円

※税込価格 ※未就学児入場不可 ※託児所は設けませんのでご了承ください。

プレイガイド

メテオプラザ / 美保関バスターミナル / 島根県民会館チケットコーナー

主催:(株)サンライズ美保関 後援:松江市

お問い合わせ TEL 0852-72-3939(メテオプラザ)

新型コロナウイルス感染症  
拡大防止のためのご案内

- ・お客様の氏名および緊急連絡先をチケット半券裏面にご記入ください。公演会場にて新型コロナウイルス感染症の感染発生があった場合には、いただいた個人情報について、保健所等の公的機関へ提供することがあります。
- ・発熱・咳などの体調不良の症状がある方、過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご来館をお控えください。
- ・マスクの着用、手指の消毒などの感染対策にご協力ください。
- ・当日は、非接触型体温計での検温を行い、37.5度以上の発熱がある方のご入場はご遠慮いただきます。
- ・会場での会話はなるべくご遠慮ください。

## 佐野史郎と山本恭司が

## 朗読と音楽で紡ぐ、小泉八雲の世界

日本を代表する俳優の佐野史郎と世界的なギタリスト山本恭司は、ともに小泉八雲が「神々の国の首都」として畏敬し、親しんだ町、島根県松江市の出身です。その二人のライフワークとして、松江ゆかりの作家、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の作品を素材とした朗読パフォーマンスを、2007年より継続的に行っています。2014年には八雲の母の故郷ギリシャで、2015年には父の故郷アイルランドで、そして2019年には作家としてのキャリアを築いたアメリカで海外公演を果たし、また国内でも多くの公演を行い、人々を感動の渦に巻き込んできました。2人が紡ぐ言葉と音楽は、松江で生まれた新しい総合芸術といってよいかもしれません。

近年、八雲のオープンマインドなまなざしが現代社会の文脈で再評価され、新しい文化資源として文化創造活動に活かされています。この朗読パフォーマンスもその大きな潮流の中に位置づけることができるでしょう。

生涯、語り部と深く交わり作品を紡いだ八雲。その深遠なイマジネーションの世界を体感してください。

### Profile



佐野史郎

俳優。島根県松江市出身。

1975年、劇団シェイクスピア・シアターの創立に参加。1980年、劇団状況劇場（唐十郎主宰）に移籍。退団後、1986年林海象監督「夢みるように眠りたい」で映画主演デビュー。1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」（TBS）のマザコン男「冬彦」役が社会現象となる。1999年、映画「カラオケ」で初監督。2006年、植田正治の写真をモニタージュした映像作品「つゆのひとしづく」（DVD/2006年/東映アニメーション）を監督。アレクサンドル・ソクーロフ監督「太陽」、カン・ジェギョ監督「マイウェイ」など海外作品にも出演。チェコのイジイ・バルタ監督によるラフカディオ・ハーン原作「雪女」ではプロデューサーとして名を連ねる。

幼少期から幻想怪奇の世界に親しみ、松江ゆかりのラフカディオ・ハーン（小泉八雲）にも惹かれた。2006年に松江で始まった小泉八雲の朗読は、ライフワークとなっている。

ギターの山本恭司とは松江南高校の同級生である。



山本恭司

ミュージシャン。島根県松江市出身。

15歳でギターをはじめ、18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。その頃より天才ギタリストとしての呼び声高く、在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。

デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、豪快で圧倒的なサウンドとギターテクニックにより常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、VOW WOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。イギリスでチャートインするなど海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。

バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッション、アコースティックの弾き語り、最近では俳優・佐野史郎との「朗読のしらべ」の音楽を担当するなど、他アーティストのプロデュースに至るまで、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。



小泉 凡

小泉八雲記念館館長。東京都出身。

成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。俳優・佐野史郎、ミュージシャン・山本恭司との「朗読のしらべ」に参画。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。

主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社、1995年）、『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社、2014年）ほか。小泉八雲曾孫。日本ペンクラブ会員。